

平成 29 年度
名古屋大学教育学部
第 3 年次編入学学生募集要項

名古屋大学教育学部

名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。

名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

1. 研究と教育の基本目標

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

2. 社会的貢献の基本目標

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

3. 研究教育体制の基本方針

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。

4. 大学運営の基本方針

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

名古屋大学の教育研究活動

名古屋大学は、研究と教育の創造的な活動を通じて、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に貢献してきました。本学は名古屋大学学術憲章にあるように、研究に重点をおく基幹的総合大学であり、創造的な研究活動によって真理を探究することを目指しています。また、学問の府として、多面的な学術研究活動と自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ「勇気ある知識人」を育てることを基本理念としています。

名古屋大学は、基礎技術を「ものづくり」に結実させ、そのための仕組みや制度である「ことづくり」を構想し、数々の世界的な学術と産業を生む「ひとづくり」に努める風土と、既存の権威にとらわれない自由闊達な学風の上に、真の勇気と知性をもった未来を切り拓く人（Leaders with True Courage and Intellect）を育てます。

学位授与の方針

名古屋大学は、教育研究の理念及び通則に定めた教育の目的に基づき各学部が目標と基準にそって、学力及び資質・能力等の卒業資格を満たし、かつ所定の期間に学した者に、卒業を認定し、学位を授けます。

文学部

人間への洞徹力と言議への関心をもち、心と行為を考え、人文学に論理的思考力をもつてアプローチできる人を育てます

教育学部

人間の成長発達と教育をめぐる課題を発見し、教育学・心理学の見地に立って様々なアプローチから、これに取り組みめる人を育てます

法学部

現代社会の問題に対し、法的・政治的知識の修得を通じ、的確かつ総合的な判断や意思決定できる人を育てます

経済学部

経済学の知識やリーダーとしての資質を身につけ、現代の経済社会が直面する諸課題に挑戦し、解決できる人を育てます

人間性と科学の調和的發展

卓越した研究成果

こと 創り ひと もの

勇気ある知識人®

機会をつかむ



困難に いどむ



自律性と自発性を 育む

立ち向かう 探究心

豊かな 人間性

主体的な 創造心

入学者受入の方針

「論理的思考力と想像力」の養成は、名古屋大学が重点をおく共通の教育目標です。これらの力を備えた勇気ある知識人の行動指針として、①機会をつかむ、②困難に「いどむ」、③自律性と自発性を「育む」学生像を追求します。

したがって、基礎学力の上に立った、

主体的な創造心

立ち向かう探究心

こうした心を醸成する豊かな人間性に優れた素養のある人を、広く日本全国及び国外から受け入れます。

教育課程編成・実施の方針

名古屋大学は、未来を切り拓く「主体的な創造心」、「立ち向かう探究心」、こうした心を醸成する「豊かな人間性」を育むため、総合大学の特色を活かした教育課程を体系的に編成します。

多様な授業形態の組合せによる教育課程の展開と自律学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学習指導を適切に実施します。

農学部

農学の知識と素養を身につけ、生き物に対する豊かな人間性、総合的判斷力及び創造的解決力をもち、社会に貢献する人を育てます

工学部

工学を拓くための学かおよび資質・能力を備え、科学に対する強い興味をもとに社会に貢献する人を育てます

医学部

科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな創造力・独創性と使命感を持って医学研究および医療を推進する人を育てます

理学部

自然の理を哲学的かそうとする探究心をもち、独創的で、柔軟な思考力をもつる人を育てます

情報文化学部

真の情報リテラシーを備え、システム思考を基に、人間の課題に取り組みめる人を育てます

平成29年度 名古屋大学教育学部第3年次編入学学生募集要項

I. 学科及び募集人員

学 科 名	募 集 人 員
人 間 発 達 科 学 科	10 名

II. 出願資格

次の各号の一に該当する者

- 1 日本の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し62単位以上を取得した者及び平成29年3月末日までに大学に2年以上在学（休学期間を除く）し62単位以上取得する見込みの者（本学在学者は除く）
- 2 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者及び平成29年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
- 3 日本の短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成29年3月末日までに卒業見込みの者
- 4 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であるものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）及び平成29年3月末日までに修了見込みの者
- 5 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び平成29年3月末日までに修了見込みの者
- 6 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）及び平成29年3月末日までに修了見込みの者
〈注意〉出願資格5により出願する者は、出願資格審査を受ける必要がある。出願資格5により出願する者は5頁を参照し、平成28年7月15日（金）までに教育学部入試担当に必要書類を提出すること。
- 7 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第九十条第一項に規定する者に限る。）及び平成29年3月末日までに修了見込みの者

Ⅲ. 出願手続

入学志願者は、2の「出願に要する書類等」を一括して必ず書留郵便で送付のこと。

送付先 名古屋市千種区不老町 B4-5(700) (郵便番号464-8601)

名古屋大学教育学部入試担当

1 受付期間

平成28年8月2日(火)から8月8日(月)16時までに郵送で必着のこと。

期間後の到着分は、受理しないので注意すること。

2 出願に要する書類等

(1) 入学志願票・受験票(様式1)

(2) 卒業・修了(見込)証明書又は大学2・3年次に在学中の者については在学証明書、中途退学の者については在学期間証明書(出願資格に該当するものを提出すること。なお、出願資格7により出願する者は、大学に編入学することができる専攻科の課程の基準を満たしていることが併せて確認できる証明書を提出すること。証明が不可能な場合は、4(3)連絡先まで事前に連絡すること。)

(3) 学業成績証明書

(4) 領収証書・領収証書(控)(様式2)

(5) 入学検定料 30,000円

(必ず郵便局で30,000円の普通為替を作成し、受取人指定欄には何も記入しないこと。)

(6) 返信用封筒2通 (出願者本人の住所、氏名を明記し、362円切手を貼付した本学部所定の定形封筒)

(7) 宛名用紙 (入学手続等通知用。本人の住所・氏名を記入した本学部所定様式。)

3 受験票の送付

受験票は、平成28年8月12日(金)頃に本人あてに発送する。

4 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ本学部と相談してください。

(1) 相談の時期

平成28年7月15日(金)まで

(2) 相談の方法

下記3つの書類を提出してください。

- 障害等の状況、受験上の配慮を希望する事項等を記載したもの(様式自由でA4サイズ)
- 障害等に関する医師の診断書、障害者手帳(写しでも構いません。)
- 障害の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)

(3) 連絡先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 B4-5 (700) 名古屋大学教育学部 入試担当

[電話 (052) 789-2606]

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期限までにお問い合わせください。

IV. 選抜実施方法

1 第1次選抜（筆記試験）

筆記試験は、次のとおりとする。

試験領域	期日	時間	実施場所
外国語 英語	平成28年 9月5日 (月)	10:00～ 11:30	受験票送付の際 通知する。
小論文 生涯教育開発コース } 学校教育情報コース } 国際社会文化コース } 教育に関する基礎的教養 心理社会行動コース } 発達教育臨床コース } 教育心理学の基礎的分野		13:00～ 15:00	

選考の結果は、9月8日（木）午前11時頃、教育学部玄関に掲示発表するほか、本人あて発送する。

2 第2次選抜（口述試験）

第1次選抜合格者に対し、次のとおり口述試験を行う。

選抜方法	期日	時間	集合場所
口述試験	平成28年9月16日（金）	9:30～	教育学部第2講義室 9:10までに集合のこと

V. 合格者発表

平成28年9月30日（金）17時頃、教育学部玄関に掲示発表するとともに、後日合否結果を本人あて郵送する。

VI. 入学手続き

入学手続きに関する詳細は、平成29年2月末頃発送する。手続きは、平成29年3月下旬を予定している。

Ⅶ. 学生納入金

- ① 入学料：282,000円（予定額）

入学手続き時に納入すること。

- ② 授業料：（年額）535,800円（予定額）

（注）1. 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。

2. 入学手続き時に入学料（282,000円）を納入しなければならない。

また、授業料納入については、別途通知する。

Ⅷ. その他

- 1 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- 2 編入学学生募集要項等の郵送を希望する者は、封筒の表に「編入学学生募集要項等 請求」と朱書し、住所、氏名を記載し250円分の切手を貼付した角形2号の封筒（約33×24cm）を同封して請求すること。
- 3 編入学後の履修方法については、編入学募集要項に含まれる関係書類を参照すること。
- 4 出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用します。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用いたしません。

平成28年6月

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 B4-5 (700)

名古屋大学教育学部

☎ 〈052〉789-2606・2607

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

入試情報ホームページ

（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部）

URL <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

◇連絡窓口

文系教務課（教育学部グループ）

TEL 052 (789) 2606

出願資格5により出願する者について

1. 事前審査

出願資格5により出願する者については、あらかじめ次の書類を平成28年7月15日（金）までに、本学部へ提出又は郵送（書留便で封筒の表に「3年次編入学試験 出願資格5事前審査申請」と朱書）し、出願資格の有無について事前照会をすること。

- ① 事前審査願（様式3）
- ② 履歴書（様式4）
- ③ 最終出身学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
- ④ 返信用封筒（住所・氏名を明記した長形3号（12cm×23cm）のもの（362円分の切手貼付））

本学部で事前審査を実施し、その結果は平成28年7月29日（金）までに本人宛通知する。

2. 事前審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に必着するよう郵送すること。

なお、事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類等は事前に準備しておくこと。

平成29年度（2017年度） 名古屋大学教育学部第3年次編入学案内

1. 趣 旨

名古屋大学教育学部では、大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者及びすでに学士の学位を取得した者、短期大学または高等専門学校を卒業した者もしくは専修学校の専門課程または高等学校の専攻科の課程を修了した者で、本学部の専門の課程を履修することを希望し、それにふさわしい資質と能力を持つと認められる者に対して、第3年次編入学を実施する。

2. 卒業の要件

編入学生は、2年以上在学し別表に示される所定の単位を修得しなければならない。編入学生の在学年数は、4年を超えることができない。

3. 卒業に必要な単位の履修について

本学を卒業するために必要な単位は132単位であるが、3年次編入学生は本学部編入学後、別表のとおり①全コース共通科目（専門基礎科目）の18単位と②コース科目及び卒業論文の66単位以上の、合計84単位以上を修得しなければならない。

4. 既修得単位等の認定

編入学生が大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程もしくは高等学校の専攻科の課程等で修得した単位（科目）を、本学部の卒業単位（専門基礎科目）の一部として、最大16単位まで認定する場合がある。

ただし、既修得科目等が本学部のカリキュラムと著しく異なる場合は、十分な単位振り替えができないことがある。

別 表

① 全コース共通科目（専門基礎科目）

1, 2年生を対象とする学部科目が, 必修および選択科目として次のとおり開講されている。

全 コ ー ス 共 通 科 目

(生涯教育開発, 学校教育情報, 国際社会文化,
心理社会行動, 発達教育臨床コース)

※開講時期は変更される場合がある。

授 業 科 目	単 位	開 講 時 期	授 業 科 目	単 位	開 講 時 期
(必 修) 人間発達科学入門				2	前期
(選択必修I群) 4科目 8単位 人間発達科学Ⅰ (生涯教育開発)	2	後期	(選択必修II群) 4科目 8単位 生涯教育の原理と組織 (生涯教育開発基礎論)	2	前期
人間発達科学Ⅱ (学校教育情報)	2	前期	情報化社会と学校教育 (学校教育情報基礎論)	2	前期
人間発達科学Ⅲ (国際社会文化)	2	前期	国際社会における教育と文化 (国際社会文化基礎論)	2	前期
人間発達科学Ⅳ (心理社会行動)	2	前期	心理・教育の統計学 (心理社会行動基礎論)	2	前期
人間発達科学Ⅴ (発達教育臨床)	2	後期	心理・教育のデータ解析 (心理社会行動基礎論)	2	前期
			人間発達の心理学 (発達教育臨床基礎論)	2	前期
計	8単位以上		計	8単位以上	
合 計	18単位				

② コース科目及び卒業論文

教 育 学 系	生涯教育開発コース	選択必修科目Ⅰ群 選択必修科目Ⅱ群 他コース選択必修科目 (3コース以上) 学部選択科目 卒業論文 随意科目	2単位以上 22単位以上 8単位以上 24単位以上 10単位
	学校教育情報コース	必修科目 選択必修科目 他コース選択必修科目 (3コース以上) 学部選択科目 卒業論文 随意科目	2単位 22単位以上 8単位以上 24単位以上 10単位
	国際社会文化コース	必修科目 選択必修科目Ⅰ群 選択必修科目Ⅱ群 他コース選択必修科目 (3コース以上) 学部選択科目 卒業論文 随意科目	6単位 4単位以上 14単位以上 8単位以上 24単位以上 10単位
心 理 学 系	心理社会行動コース	必修科目 選択必修科目Ⅰ群 選択必修科目Ⅱ群 他コース選択必修科目 (2コース以上) 学部選択科目 卒業論文 随意科目	10単位 4単位以上 10単位以上 8単位以上 24単位以上 10単位
	発達教育臨床コース	必修科目 選択必修科目Ⅰ群 選択必修科目Ⅱ群 他コース選択必修科目 (2コース以上) 学部選択科目 卒業論文 随意科目	10単位 4単位以上 10単位以上 8単位以上 24単位以上 10単位
合 計			66単位以上